



株式会社オプトラン
**2018年12月期 第3四半期
決算補足説明資料**

2018年11月14日

決算ハイライト（連結）



業績は大幅伸長

- スマートフォンやLED装置は堅調、カメラレンズ（監視カメラ）やIoT(生体認証、車載、半導体)向け成膜装置が成長分野。
- 3Q売上には、4Q以降に予定していた売上が前倒して顧客から検収が上がり計上、後半期（3Q+4Q）平均の売上は順調、2018年前半期と同程度の見込み。
- スマートフォンは北米系・中華系・韓国系とも全てのメーカーが筐体加飾膜・カメラ機能の飛躍的アップのため、新型装置開発意欲は強い。米中貿易摩擦の影響下で、発注タイミングを探る展開で要注意。
- カメラレンズ・IoT・LED・その他の分野の成長は、今後、業績を継続的に支える見込み。

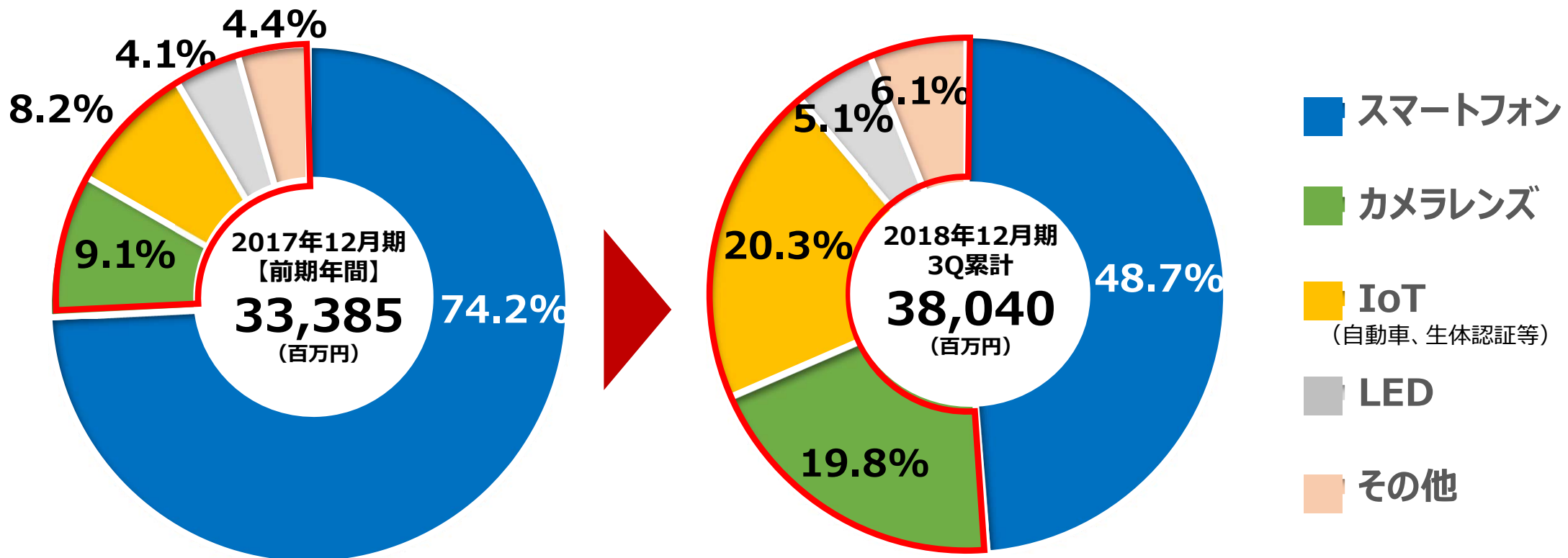
(百万円)

	2017年12月期 3Q累計	2018年12月期 3Q累計	前年同期比
売上高	21,298	38,040	+78.6%
営業利益	5,492	10,416	+89.7%
(営業利益率)	(25.8%)	(27.4%)	—
経常利益	5,593	10,913	+95.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,655	7,952	+117.6%

分野別売上構成

光学薄膜応用分野の拡大

- スマートフォンは北米・中国・韓国等、需要先が多様化。
- カメラレンズ（監視カメラ等）・IoT(生体認証・車載・半導体)・LED等への拡がり。



2018年12月期 業績予想（連結）



- 売上：当社計画どおり順調に推移。
- 利益：装置生産効率の改善や原材料費の抑制により、原価率低減により、2月発表を大幅に上回る見通し。

(百万円)

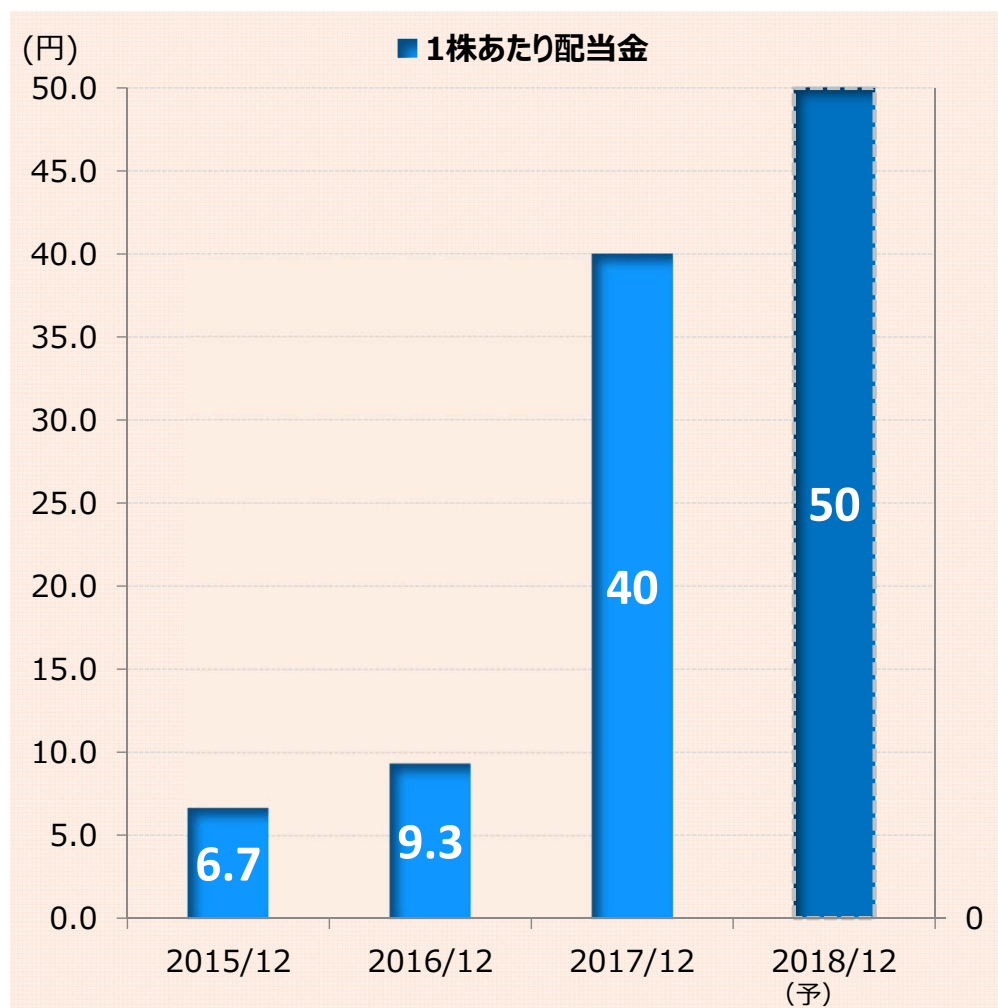
	2018年12月期 予想 (2月発表)	2018年12月期 修正予想 (11月発表)	増減率
売上高	43,800	43,800	0.0%
営業利益	8,100	10,700	+32.1%
(営業利益率)	(18.5%)	(24.4%)	—
経常利益	8,200	11,200	+36.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,700	7,200	+26.3%

配当予想の修正（42円→50円）

配当方針

研究開発投資、生産体制強化、新事業開拓等の必要な内部留保資金を確保しつつ、余力は株主還元を最大限実施します。

連結配当性向30%程度を目安に、
安定的な配当を目指します。



※ 2017年3月18日付で1:1,000の株式分割、及び同年10月13日付で1:3の株式分割を実施
2017/12期以前の1株当たり配当金は上記株式分割を反映し、遡及修正して表記